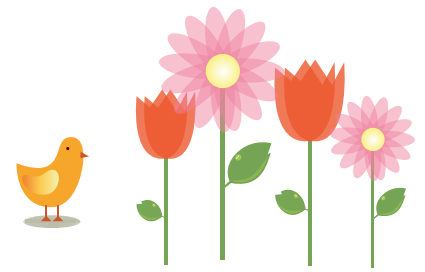


## 7 インフルエンザ



毎年冬になるとインフルエンザが流行し、ワクチンや抗ウイルス薬（タミフル）の話題になります。それでは、インフルエンザワクチンは接種した方が良いでしょうか？ Q&A でインフルエンザとワクチンについて学んでみましょう！

Q1) 昨年接種したけれども、今年も接種したほうがいいのか？

A1) まず、インフルエンザは種類が幾つかあり、毎年その年の流行を予想してワクチンが作られますしたがって、昨年接種したから今年も接種する必要がないというものではないんです

Q2) いつ頃までにワクチンを受けた方がいいのか？

A2) インフルエンザワクチンは2回目接種後1ヶ月頃に抗体がピークとなり、5ヶ月後頃まで効果が持続します。12歳以下は2回接種が望ましいため、12月上旬までには2回目の接種を終えることが望ましいです。

Q3) 2回接種する時の間隔はどれくらいがいいのか？

A3) 1回目接種後2～4週となっていますが、免疫の効果が一番高くなるのは4週間前後です。接種する時期や、流行状況ではもう少し早く接種することもあります。4週間後を目安にしてください。

Q4) ワクチンを接種したけれども、昨年はかかってしまいました。インフルエンザワクチンって効果があるのか？

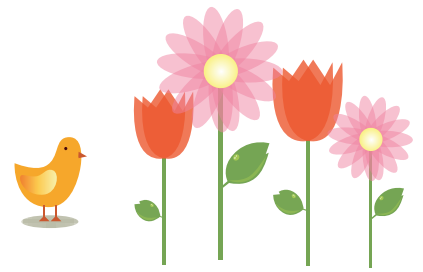
A4) これが一番難しいんです…。インフルエンザワクチンの効果は資料によっても様々ですが、大人と比べると乳幼児の予防効果は低くなっています（もちろんワクチンのみの効果ではなく、大人は今までにたくさんかかっていて抗体もあるていどできているためと思われる）。また、麻疹、風疹のようにウイルスが入ってきてから発症するまでが1～2週間あり、全身での感染ではワクチンの効果が十分に発揮されるのですが、インフルエンザは気道粘膜での感染が主で潜伏期間も短いためワクチンの効果が出にくいと言われています。したがってワクチンを接種してもかかることもあります。軽くて済む人も多く、脳炎、心筋炎を予防することができます。

Q5) 卵アレルギーがあると受けられないのか？

A5) 製造過程で微量の鶏卵由来成分が残存するため、アレルギー症状が出る場合があります。今まで麻疹ワクチン、麻疹風疹混合ワクチンで反応が出たことがある人は要注意です。場合によってはショック状態に対処できる総合病院での接種が必要となります。

>> 裏面へ

## 7 インフルエンザ



### Q6) ワクチンの副反応は？

A6) 接種部位の発赤、疼痛などが主です。発熱、倦怠感などが出るがありますが、通常は2～3日で消失します。

### Q7) 何歳から受けられるの？

A7) 生後6ヶ月から接種できます。できるだけ家族もワクチンを受けることが望ましいです。

### Q8) インフルエンザワクチンを受けてから他のワクチンまではどれくらい間をあければいいの？

A8) インフルエンザワクチンは不活化ワクチンのため1週間で次のワクチンを接種することができます

### Q9) インフルエンザにかかったときにタミフル（抗ウイルス薬）って飲んでも大丈夫なの？

A9) タミフルについては、1歳以下には使用できなくなっています（動物実験で若いラットの脳内に高濃度の薬が検出されたため） また、昨年よりタミフル内服後の異常行動（マンションから飛び降りるなど）が報道されていますが、小児科学会では明らかな関連性は認められないと発表していました。 インフルエンザ自体が異常行動をおこすことがあるため、現段階（平成18年秋）でははっきりしないのです。（もちろん関連性が全くないとも言い切れないのですが）

また、世界中のタミフルの消費量のほとんどが日本なんです。海外では自然に治る風邪の一種なのに薬は不要との考えが普通なんです。

したがって、今後インフルエンザにかかった時にタミフルを飲むかどうかは、御家族の方と相談してとなります。

タミフルを内服してインフルエンザ脳症の発症が抑えられるかどうかはまだはっきりしていませんが・・・